

中学校 門扉の運用について

コベカツでは、生徒が学校や居住地など異なる場所から移動して参加することもあるため、交通事情等により到着時刻に一定のばらつきが生じる可能性があります。そのため、生徒の円滑な参加を考慮し、活動時間中は以下の通り、原則、利用門を開放するルールとしております。

クラブ出入り時の運用ルール

- ① 始めに来たクラブ指導者が、門扉が閉まらないように留め具としてコーンを置く。

(参加者が学校に入れる状態をつくる)

※電子ロックではないダイヤルキー等の入口を利用している場合は、門は開く状態でドアを閉めておき、コーンはドアの外側に置いておく。

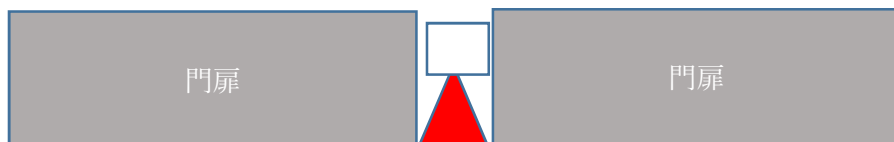
- ② 各クラブは帰る際、自身のクラブが最後の可能性がある場合はコーンを外して（校舎内にコーンを入れて）門扉を閉める。

※電子ロックの入口はドアを閉めるが、ダイヤルキー等の入口は、コーンを中に入れてしっかり施錠して帰る。

(注意点！)

- ・他のコベカツクラブが活動していることを、目視により確認できない場合は**必ず閉める**。
(校舎内のクラブの状況が目視により確認できない場合などは閉めるようにする。)
- ・門扉を閉めた後に校舎内に他のクラブがいた場合は、「開錠ボタン」などで外に出ることが可能。その都度、門扉は閉める。

【クラブ活動中のイメージ図】



開き戸の場合はコーンを入口に挟むなどをして、閉まらないようにしておく



●クラブへの依頼事項

- ・運用ルールをクラブ内のスタッフ全員に共有し、徹底していただく。
- ・指導者はクラブの活動が終了し、帰る際は必ず、**クラブの参加者全員が学校敷地内から外に出たことを確認**してから帰っていただく。

【参考】夜間開放利用団体の施錠にかかる運用

夜間開放利用団体は、カラーコーンがある場合はコベカツクラブの活動中と認識し、施錠せずに帰りますが、カラーコーンが無ければ出入りの都度、施錠する運用となっています。